

技術委員会報告

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事・技術委員長 谷川 力

技術委員会は本年1月、4月(前回報告)に続き6月、8月が行なわれた。これらも感染症委員会と連携でルノアール四谷店にて開催された。出席者および事業内容については前号でも紹介してあるので省略する。

この期間で行われた大きな事業は、空港内のヒアリ・アカカミアリ調査(写真1)、および東京港湾部分のアルゼンチンアリ調査がある。双方、特定外来生物としてのアリの調査であり、トラップの配置、回収、および目視調査、そして捕獲種の同定を行った。その結果、空港内ではヒアリ・アカカミアリは確認されなかったが、港湾部では局所的にアルゼンチンアリが確認された。本調査によりアリ類の調査・防除の重要性を改めて再認識した。特に外来性のアリ類は、元来生息していた土着生物の根絶を招きかねない重要な仕事でもある。

一方、もう一つの事業は、広尾における蚊の殺虫試験があげられる。本試験は8月初旬および9月初旬の2回、異なる散布機を用いて試験を行った、本試験では蚊の多い庭園を利用し、殺虫前日に蚊の生息種や密度を調べ、殺虫当日にエトフェンプロックス水性乳剤を用法用量に希釈し、約50ml/m²で高さ約2m以下の主に蚊の生息する植栽などに散布した(写真2)。当日も同じように事前での調査、散布後の事後調査を実施し、その殺虫効果、作業効率等を調べた。つづいて翌日以降も蚊の生息数を経日的に調べた。なお、本試験の報告は学会報告をする予定であるため、詳細の報告は差し控える。

次回技術委員会は同じく感染症委員会と合同で11月5日に開催を予定している。



(写真1) 空港におけるヒアリ調査



(写真2) ハンドスプレーヤーによるヒトスジシマカ防除試験